

# Best Designers

## ミラノ中がわいた、デザインの生みの親は？ 今、見逃せないデザイナー7人。

今年のサローネで、目覚ましい活躍をみせていたデザイナーたちを紹介しよう。  
年々その作品に磨きがかかるスウェーデンの女子4人組、フロントや、世界のデザイン界のルーキー、ハイメ・アヨン。  
それから、毎年きちんといい仕事を積み重ねているトム・ディクソンまで、見逃してはならないデザイナーズ・リスト！

02



### Jaime Hayon

ハイメ・アヨン

**ファンタジーなアイデアだけでない、  
ハイメの魅力。**

今年はピザツァタイルの素材感を強烈に感じる、ラージスケールなインスレーション (P.119) で話題をさらったハイメ。通常サイズの作品は、組み合わせ自由で使いやすさを追求。「今回の展示はグレート!」と本人もご満悦。上はスワロフスキーとのコラボの「スパークルシェード」。おとぎ話の世界に迷い込んだようなハイメ色炸裂!



MGMミュージカルからインスパイアされた「ショータイムチェア」と名付けられたシリーズ。左 背もたれ、脚、ファブリック、カラーなどを自由に選べて組み合わせが可能。右 オーガニックフォームとクラシックなディテールが絶妙にマッチした2人用ソファ。

01



### FRONT

フロント

**形は普通……、  
よく見ると実にユニーク!**

今年はオランダさんのギャラリーのメインの部屋が、フロントの世界で埋め尽くされた。よくある丸い照明の中に木漏れ日のような影を演出したり、時代とともに変わる部屋の写真が何層にもプリントしてある家具など。「新しいデザインと、既存のものとの掛け合わせがどうなるか興味があったの!」と、彼女たちは言う。

右 ずっと眺めているとノスタルジックな気持ちになる「シャドウランプ」。右下 過去を映し出すキャビネット「リフレクションカップボード」。下 街にある広告や標識が向きを変える様子を、そのままカップボードに「チェンジングキャビネット」。

